

令和7年度「高知県高校生防災サミット」開催要項

私たちから未来に紡ぐ～高校生から広げる防災～

1 趣 旨

平成28年11月、本県の黒潮町で日本を含む世界30カ国の99校、361名の高校生が一堂に会し、「『世界津波の日』高校生サミットin黒潮」が開催され、若き高校生たちが防災リーダーとしてそれぞれの国や地域で活動していく決意を表明した「黒潮宣言」が採択されました。その黒潮宣言に基づき、今後、高知県の未来を担っていく高校生が防災リーダーとして成長し、活躍することを目的に開催します。

2 日 時 令和7年11月15日（土） 10：00～15：30

3 会 場 高知県庁正庁ホール（〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目2番20号）

4 開催方法 参集方式とZoomによるオンライン方式の併用で実施

5 参加者 高知県内の高校生及び教員、学校教育関係者、防災関連機関担当者 等

6 日程及び内容

時 間	高知県庁 正庁ホール
10：00	開会（9:30 受付開始）
10：20	実践校の取組発表（宿毛工業高等学校、大方高等学校）
10：50	休憩
11：00 11：30	実践校の取組発表（高知東工業高等学校、室戸高等学校） 県外高等学校の取組発表（宮城県多賀城高等学校）
12：00	昼食
13：00	講演 「私の失敗から考える“今”できること」 公益社団法人 3.11 メモリアルネットワーク 阿部 任 氏
14：40	休憩
14：50	グループ協議 「“私だから”できることを見つけよう」
15：20	閉会

7 その他

悪天候等により、やむを得ず中止する場合は、高知県教育委員会事務局学校安全対策課ホームページに、前日の17時までに掲載します。

8 問い合わせ先 高知県教育委員会事務局 学校安全対策課 学校安全担当
上岡、山崎 TEL:088-821-4533 FAX:088-821-4546

【講師】

公益社団法人 3.11 メモリアルネットワーク 阿部 任（あべ じん） 氏

《講演にあたってのコメント》

東日本大震災当時は高校1年生で、宮城県石巻市内の祖母宅へ帰省中に震災を経験しました。避難をせず家屋ごと津波に流され9日間後に瓦礫の中から祖母と一緒に救出されました。発災9日後の救助は、「奇跡の救出」とマスコミで取り上げられ、暗いニュースが続くなかで希望を感じた方も多くいました。しかし、本人は避難ができなかった後悔と罪悪感を感じ、「奇跡」と「現実」のギャップに苦しみました。

現在は東北大学災害科学国際研究所特任准教授(客員)を務めるほか、みやぎ東日本大震災津波伝承館の解説員や語り部として、訪れてくれる方々に東日本大震災の教訓を伝えています。

講演では、震災当時のお話や教訓、なぜ伝承活動が必要なのかといったことについてお話いただき、未来の命をどうやって一緒に守っていくか考えていく予定です。

【県外高等学校の取組発表】

宮城県多賀城高等学校

東日本大震災を風化させず、教訓を後世に伝えるため、生徒が語り部となり、県内外からの参加者に東日本大震災当時の多賀城市内の様子を伝える活動を2014年より行っています。

また、2016年に「災害科学科」が開設され「人とくらしを守る」という高い志を醸成し、職業として防災にかかわるだけでなく、地域や企業などの様々な組織でリーダーシップを発揮できる人材を育成することを教育目標に防災教育に取り組んでいます。

高校全体として防災教育を推進し、普通科の授業にも防災や減災の視点を積極的に取り入れたカリキュラムを提供しています。